

被災地報告の感想をお聞かせください(183 件の回答)

- ニュースにない情報が分かりやすかったです。
- 動画や写真など資料が充実しており、報告を聞きやすかった。
- 現状を知ることができ参考になった。
- 避けられない災害に対して建築士としてどう取り組むか考えるきっかけになりました。
- 当時の状況と現状を比較して紹介されることで、防災やその時の心構えになります。大変良い報告であったと思います。
- 継続して被災地報告をいただけることで、ニュースだけで走るこのできない被災地の現状を知ることができありがたい
- 被災地の皆様は本当にご苦労なさって来られたということをあらためて教えて頂くと共に、建築士として熱心に活動を行なってこられたご様子をお聞きして感銘を受けました。
- どこが「被災地」と言われてもおかしくない気候のなか、では実際に被害が起きた時に、自分が建築士として何ができるのか実はよくわかっていないと思いました。皆さんの活動、大変勉強になりました。
- 復興には時間と労力を要するのだなと改めて感じました。被災された地域同士の連携にも感動しました。関さんのビデオも真摯に真剣に取り組む姿に感動しました。自分も頑張ろうと勇気をいただきました。
- 地域にいてこそその情報がよく伝わりました
- 長野の報告の音声ほとんど聞き取れず残念でした。(私のPCのせいなのか、録画の雑音・騒音が会話よりも激しかったのか?)
- テレビで見るのと違い、同じ建築士会女性会員という身近な存在からの報告を視聴して、被災状況をよりリアルに感じることができました。
- 被災状況や現状の様子がわかりよかった。
- 災害の怖さが伝わりました
報道ではわからないことが聞けました
活動が凄いいと思いました
- 10年経った東日本大震災のその後、各地の水害のレポートをありがとうございました。災害直後の写真、今もそこに住まわれている方のお話は、一般のニュースでは伺えないことでした。他人事ではなく、我が事として記憶しておきたいと思います。
- まだまだこれからの課題がたくさんあり、自分の事として感じ行動出来るようになりたいと思いました。
- リアルなレポートで、様子がよくわかりました。頭が下がります。
- 報道ではわからなかった現状を知れてよかった

➤	動画が見られてよかった。手振れが少なければもっとよかった。
➤	少し冗長な印象(特に東北)。近年の災害にもっと時間をさいては？
➤	福島の被災地報告で震災から10年も経って、福岡ではあまり身近に感じる事ができないが、現状を動画で見せて頂いて何とも言えない感情があった。 除染作業の土が山積みされていたり線量計があんなに普通に使えているところ。九州にいたら見る事ができない光景だった。ただ車からの映像を見るだけでも涙が出そうだった。建築に何ができるのかを考えさせられる映像だった。
➤	各県の現在の状況がよく分かった。ドラレコで撮影した動画など、リアルに伝わって良いと思った。
➤	最近では、行くことができないので、被災地の実況放送はよかった。報道番組でストコマ切れですが、建築士の視点で、見られ、興味深かった。
➤	皆様の地域災害と真剣に長期に渡る活動を知る機会があり良かった。自然災害の多発は建築だけで解決できないが、やれる事を積極的に行いたいと思った。
➤	原稿たらたら読みで実感が湧かなかった。
➤	被災地の状況が多少理解できた。被災は不幸な事ですが、災害で経験した事、災害と向き合うことで生まれる事は、将来の財産になると思います。
➤	ご苦労様です。これから益々大規模災害が、起こると思うと恐ろしいです。
➤	全建女に参加した時には毎回参加させて頂いています。いつどこで起こるか分からない災害の経験者の話やその後の活動等大変参考になります。すぐ行わなければならないこと、長期で考えることを災害の前から考えておかなければならないと実感しました。
➤	継続的にお話を伺えて非常によい企画だと思うので、今後も関心を持ってお聞きしたい。 被災地が増えるのは、心が痛いところですが・・・ 被災地の地域の状況は、メディアとは違うことも実感した。
➤	1番目の報告の音声の流れがなかったみたいです。字幕があったので理解できましたが。長野の関さんの動画は、施工者側から被災状況の様子がうかがえて良かったです。千葉の事はゴルフ場の鉄塔しか印象になかったなので、認識を新たにしましたところでは。
➤	生々しい情報を知ることができ知見が広がりました
➤	実際に活動された中での工程や、大変だった事や工夫された事を聞いた事で、今後も起こり得るであろう災害に対し、今準備出来ることは何かを改めて考えさせられました。
➤	動画と字幕だけより、口頭の説明がある方が理解しやすいと思いました。
➤	千葉県さんの報告が新鮮でした。
➤	長野のニュース映像はとても分かりやすく、内容もよかった
➤	参考になりました。

<p>➤ 地域差もありますが、未だに復興はなされていないと実感しました。建築士として人として被災地の状況を継続的に報告して頂き知ることは、大変重要だと感じました。忘れてはならないけれど忘れてしまう災害の事をきちんと考える機会としても今後も続けて頂きたいと感じました。</p>
<p>➤ 東日本大震災以来災害がいつもどこかで起きているように感じます。頭の中ではわかっているけど常に備えていくことはなかなか難しいですが、被災証明を出すお手伝いができたりしたのは今までになかったことなので、今後も目を配っていきたいと思います。</p>
<p>➤ 東日本大震災については、私の町の一部も避難地域になり数年戻ることができなかった人やその人の言葉の画像を見るたびに当時の事を思い出します。今は地震の他に、水害、風害など誰でもがいつどこで被災するのかが分からない状況になっています。発表を拝聴して防災について更に考えていかないといけないと感じました。</p>
<p>➤ 被災地の状況を メディア視点ではなく、地元の視点で知ることができるので本当の意味での被災状況を知ることができて すばらしいです。</p>
<p>➤ 少しずつ復興ですが、いつもお聞きするたびに何かお力に会でもなれる事はないのかと考えていますが、情報を頂きたいです。</p>
<p>➤ ご自身も被災されているのに、建築士として真摯に対応されていて本当に頭が下がります。</p>
<p>➤ 日本全国、被災地と呼ばれる所が増えました。その時、自分に何ができるか考えさせられました。</p>
<p>➤ まだまだ復興が完全でない地域もあり、また建築士としてできることに尽力され、自分も災害について考える機会となります。これからも継続して報告をして欲しい。</p>
<p>➤ 日頃あまり得られない情報だったので聞いてよかった。</p>
<p>➤ 継続して風化させないことは大事ですが、次回の内容を考えて組み立てる辛さが発表者側の負担になることを、こちらの立場になって感じています。10年続けるって凄いことです。</p>
<p>➤ 令和年代に入ってから地球温暖化に関わる台風や竜巻、豪雨災害が多くなり、コロナの鎮静化はもとより日本全国で頻発している地震への対応等にどのように立ち向かうのか、日本列島の風土文化を根底から覆される様で、どこまで準備しておけば安全なのか心配です。</p>
<p>➤ 津波の跡地にメガソーラーが広がっている現在の様子にショックを受けました</p>
<p>➤ あらためて最近の災害の多さを実感しました。そこで活動される皆様に敬意を表します。阪神大震災後の日々を思い出し、建築士の役割を再認識しました。</p>
<p>➤ 貴重な現地レポートでした。福島県の報告の音声が入っていなかったようで、聞けなくて残</p>

念でした。
➤ 時間が短く感じました。他の地域やコンサルタントでなく地元の建築士で復興ができればいいなと思いました。
➤ 人ごとではなく今一番身近な問題だと感じます。被災時にすぐ協力ができるように他の地域の建築士会員同士が繋がることが大切だとおもいました。今回の全建女もイベントとしての楽しさとそれ以上の価値を含んだ良い活動ではないでしょうか。
➤ それぞれの地域の様子がよく伝わる内容だったです。
➤ 被災した中での報告は大変かと思いますが、被災後の変化を含め、とても参考になります。
➤ 東日本から10年でもまだまだ途中だとあらためて思った。水の被害が大変であることがショックであり、自分の認識の甘さを反省した。
➤ 被災地の皆さんのお話を聞くことは、災害時に自分にできることは何か、を改めて考える機会を与えてくれます。
➤ 動画を使い報告がされていて臨場感があった。
➤ 発表の仕方も工夫されて見応えがありました。大変な時を過ごしてこられたと思いますが発表をしていただきありがとうございました。
➤ 動画等で現在の様子を見る機会は少ないので、今後も続けて欲しいと思いました。それぞれ地域の方の生の声が聴けたら、とも思いました。
➤ 被災地の復興状況の報告を継続しているのがとても良いと思います。あれらの出来事は忘れてはいけないことと思っています。
➤ 福島の変に編集されていない動画がみられて良かったです。
➤ 熱い活動が伝わってきました
➤ これは継続して発信してほしい。
➤ その時間、用事があり拝見できず残念でした。後日、録画を拝見させてください。
➤ 地震、津波、水害、台風と災害の被害の大きさと多さに改めて驚かされました。福島原発事故後の現在の映像は心が痛かったです。娘が宮城県の南部に居たため、大変心配していたことを思い出します。新潟にも原発があり他人事ではありません。
➤ TVの放送の利用は聴きやすく見やすかった。まだまだ現地の現状は終わらないと思った。
➤ とてもよかったです。被災地からの復興の状況(いかに復興したか!)も大事ですが、被災の状況や、過渡期の状況=事実、建築士たちの関わり方=相談件数などをデータや写真で広く知らせる、ということも必要だと思いました。(千葉の報告を視聴して) もっとこの被災地報告に時間を取っても良いと思いました。毎年、何らかの形で、被災地報告やディスカッションなど行ってほしいと思います。建築士の関わり方を考える良い機会になると思いました。

<p>➤ 映像は生々しく、被災地域の深刻な現状をデータとは異なる視点で再認識することが出来た。</p>
<p>➤ テレビや新聞だけではわからない、地元の方々の情報で改めて災害でも対応できる建物や日頃の意識の持ち方が大切だなと思いました。また、ニュースなどで流れなくなっても復興にはまだまだかかることもあり、自分ができることは何があるだろうかとも考えさせられました。</p>
<p>➤ 昭和の時代終わりごろから地球温暖化に伴う気温の変化、生物の生態系の北上化(農産物の北限が北へ上昇)と九州の台風銀座と言われてきた進路の右フックが関東直撃型に変わり九州では福岡の北玄関からの上陸等これまでの地域性を考慮した治水や台風対策では対応できない、予測ができない災害大国になりつつあるように思われます。特に世界全体で動き出した地層変異による地震、火山活動にどう対応していくのかコロナ禍以上に難しい対処方策を地球規模で考えることが望まれる令和の時代へ突入したように感じました。</p>
<p>➤ ⑦で音が無かったと記載しましたが、福島の復興の映像に音がなかったのは、意味があったのですね。</p>
<p>➤ わかりやすかったです。</p>
<p>➤ 近年増えて来ている災害、各地に広がっている事 考えさせられた。又、復興等建築士としての関わり方を知れた。</p>
<p>➤ 復興への道のりは遠く、莫大な費用と時間がかかります。現在の防災を考えていかななくてはと思いました。</p>
<p>➤ 現地の様子が良く解りました。</p>
<p>➤ 長野の報告の中の動画が印象に残った！</p>
<p>➤ 毎年新たな被災地報告が加わり、人の力ではどうしようもできないことに対する無力感を感じています。</p>
<p>➤ テレビ番組を流すだけのものは少し物足りなかった気がしますが、他の県の方は現状がよくわかりました。テレビだけではこんな現状知り得なかったのが貴重な時間でした。</p>
<p>➤ 現地の状況が動画でわかりやすかった。 切実な思いと活動に涙しました。 動画は文字の読み上げだけでも音声があった方が良いです。動画と文字と両方見きれないので…。</p>
<p>➤ 建築士の役割と横のつながりの大切さがわかった。</p>
<p>➤ 今の日本は、何時何処で災害が起きてもおかしくない状況なので、被災地報告を見させていただき、もし自分だったら何が出来るとか考えさせてくれる内容でした。</p>

<p>➤ 現状が良く分かったが、画像だけのところについては少し分かりづらかったように思う。これからも続けて報告していただければと思います。</p>
<p>➤ 午後のプログラムは打合せの為視聴できませんでしたが、後日の配信を楽しみにしています。</p> <p>後日の配信があると聞いていたので、仕事の打ち合わせを優先することもでき、それもWEB開催の利点だと思いました。</p>
<p>➤ 忘れかけていた事柄を改めて心に入れて、出来ることは何だろう・・・という気持ちでした</p>
<p>➤ 各地の被害状況や復興の様子がわかった。震災の記憶を今後の防災に活かせると思う</p>
<p>➤ 被災地報告ありがとうございました。</p> <p>時間が経過しても今も心が痛みます。</p> <p>地域の復興は確実に進んでいるとは思いますが、被災した人たちの今はどうされているんだろうと案ずるばかりです。</p>
<p>➤ 毎年全国各地でいつ災害が起こるかわからない状況の中、復興に向けての災害に強いまちづくり、家づくりとは地域、行政、建築士などの専門家たちの連携は必要と感じながら建築士としてできることは何かと考えさせられた。</p>
<p>➤ まとめが雑</p>
<p>➤ 被災地と建築士としての向き合い方を知ることができました。本当に頭が下がります。</p>
<p>➤ これからは地震だけでなく多様化する災害などを想定し、防災対策に取り組んでいかなければと思いました。</p>
<p>➤ 全国的に災害が多くなっていることも実感しましたが、各地の建築士が活躍していることは頼もしいことと思いました。</p>
<p>➤ 被災地のその後の状況を建築士の視点から報告いただき、有意義でした。</p>
<p>➤ 動画を使つての報告など工夫があつてわかりやすかったです。</p>
<p>➤ 災害支援活動・住宅相談等実践されたことを聞きくことが出来て良かった</p>
<p>➤ 建築士のできる仕事内容がよくわかりました。</p>
<p>➤ 幸いにも災害の少ない地域に住んでいますが、被災地の方は、今も尚 通常の生活ができないのだと改めて思いました。</p>
<p>➤ 被災から年月が経っても、今なお色々な課題が山積している事がこの報告によりわかりましたし、こういったカタチが良いのか、今後ますます多くなるであろう災害に対して私たちはこういった建築を進めるべきか、とても大きな課題だと考えさせられました。被災地から学んだ事が全国に広がるよう、被災地報告の重要性も改めて感じました。</p>
<p>➤ どの被災地も頑張っていて、素晴らしいと思いました。</p>
<p>➤ 各地域よつての防災意識に差があるんだなと教えられました</p>

➤ 各地の様子が分かり勉強になりました
➤ 急用が入り視聴できなかったので、後日視聴します。
➤ 改めて被災地の今を知ることができて、良かった。
➤ 宮城・福島はじめ全国で同時に多発する被災地復興の地域がある状況に、改めて災害への対策や、もし自分の町で起きたらということを考えずにいられないです。地元の工務店、建築士の皆さんが自分も被災して大変ななか、地域の人びとを支え、生活再建に大きな役割をもつこと、まちへの思い、先人の造った建築への思いを大事に仕事されていることなどとても貴重な内容を分かりやすく伝えて頂き、復興への思いを共有させていただいた気持ちです。
➤ 今回はオンラインであったため映像が見やすいことがこちらもよかった。
➤ 事前に録画されていることもあってか、動画等をしっかりと見れて良かったです。
➤ 建築士目線で被災地の現状が見聞きする機会は貴重でした。
➤ メディアで目にするのが少なくなりましたが、復興するにはまだまだたくさんの時間と労力が必要だと思い出させてくれました。機会がありましたら直接被災地で活躍されているっしやる建築士の皆様と、現場の声を直接伺い、私に何ができるのか考えてみたいと思います。コロナで益々、動きにくいことと存じますが、お力になれることを考えたいと思います。
➤ 福島のソーラーパネルの光景には何とも言えない気持ちになりました。
➤ 毎年どこかで災害が起きている。決して人ごとではない。悲惨な状況だけでなく、それを乗り越える工夫や対策など、皆で共有できる有意義な報告会だと思いました。
➤ 他人事ではなく、常に身近で考えることが必要と再認識しました
➤ テレビなど報道機関とは別の視点で被災地の状況が分かり、色々と思うところがありました。
➤ 被災された状況および防災への問題提起など示唆に富んだ報告でした。建築士すべてに係ることであり、情報をライブラリなどで共有できれば有益と感じました。
➤ 被災地の近隣としては、現状の状況を確認するには心が痛くなります。でも、着実に明るい方向に向かっているの、目を背けずに前を向いていきたいとおもいます。
➤ 以前にも増して災害が増加しており、身近な熊本をはじめ、短期間に発生しているので、その対応について、参考になることが多かった。
➤ 各地の被害を聞いて勉強になった。自分の住んでいる地域でもいつ同じような災害がきてもおかしくないと考えていかなければと思った。
➤ 毎年継続的に報告していること自体に大変感銘を受けている。これについてはリアル開催でもパワポでの報告になるので、逆にオンラインの長所が活かされたように思う。

<p>➤ 復興の進捗がわかってよい</p>
<p>➤ 各地の状況を見て、建築士としてできることをもっと考えなければならないと思いました。</p>
<p>➤ 身近な問題なので、毎年続けてほしいです。</p>
<p>➤ 残念ですが、時間の都合上見るができなかった</p>
<p>➤ 建築士の目を通しての実際の被害状況がわかってよかった</p>
<p>➤ 福島県の報告は音がありませんでした(こちらのメディアのせいでしょうか?) 南三陸の報告、長野、千葉、熊本 それぞれの報告はニュースに報じられない視点で大変興味深く聞かせて頂きました。</p>
<p>➤ 今や地球上の何処に住んでいても自然災害は起こりうる状態です。 過去の事例に安心することなく、自分の置かれた立場に於いて各自備えをする必要性を感じました。</p>
<p>➤ 災害は、いつわが身に起こるかわからないこの頃。その時にこの報告を生かさねばと感じています</p>
<p>➤ 天災による被災地の状況、現況、その後の対応、復興などから学ぶことはとても多かった。</p>
<p>➤ コロナの影響で、なかなか被災地入りできなかったふるさと熊本の水害のその後が知りたかったのですが、報告を受けて少し安心しました。しかし、復興にはまだまだ時間もかかり、建築士の出番は続くと感じました。</p>
<p>➤ 福島のいまの動画は、全国大会でふくしまを訪れた際のことを思い出し少しずつ前に進んでいることがわかりました。その他、パワーポイントでBGMに文字が流れるだけだと、なかなかすべてを読み切れず、焦りました。ナレーションもつけていただけると嬉しいなと思います。</p>
<p>➤ この10年間、心痛めながらただ復興を見ているだけで、何も出来ないでいました。ただ東北のお酒を飲んで応援することしかできませんでした。</p>
<p>➤ 熊本県の報告は、最近の雨水災害についての対策に参考になる報告であったと思います。</p>
<p>➤ 大切な報告と思いますが、どこかで終わりが必要ではないかと思ったりします。 被災地の時の流れと建築士の活動との関りなど課題も多いのではないのでしょうか？ 被災地からの提言などまとめ、備え等を全国に発信してほしいです。</p>
<p>➤ 継続的な報告もあり被災地の移り変わりを知ることができ、今後も継続してほしいと思います。</p>
<p>➤ 今回の企画の中で、一番、興味を掻き立てられて、勉強になり、良かった。全国の会員がいる団体ならではの内容だと思う。現地の動画を流すだけで、特に説明がなくても話を聞く以上に情報量があり、有意義でした。</p>

➤	正直、もっと色々な現場映像が見たかったですね
➤	ワクチン接種による体調不良で残念ながら聴けませんでした。
➤	各報告者とてもよくまとめられていて、わかりやすかった。
➤	よく取材されていて、興味深かったです。
➤	どれもこれも身につまされます。そして、皆さん同じような事を考えているのだと実感し、辛い思いの共感と共に、前に進む勇気ももらいました。
➤	私も福島県人。10年たっても被災地報告を聴くのは切ないです。原発処理が終わらないと福島県の終わりはありません。またいつなん時、大きな地震が来てももう大丈夫！はいっつになるのでしょうか。私は60代。見届けることは出来ないかもしれない、とってしまいます。
➤	建築士として働かれていて、建設業を再開された方のご苦労を思いました。家族が揃われてよかったな—と思いました。大変でしょうが頑張ってください。
➤	<p>一瞬にして変わるとはこのこと・・・地震が、津波が、原発が、被災地の今を報告される中でも胸が詰まりました。津波により無くなった町、誰のかわからない写真、どこにあったかわからないお地蔵様、未だあるのに見えるのに帰れない大熊町の帰還困難区域、東日本大震災が残した爪痕は大き過ぎると改めて思いました。</p> <p>公共建築物の再建が完了している事や仮設住宅はもうないという事は、あの被災状態にして10年という年月で復興されているのはスゴイと思いました。そして、多くの方々が高台での住宅再建を余儀なくされているのはとても辛いことだと思います。しかし、自然には敵わないし、命を守る行動とはまさにこのことで、教訓としては払う代償が大き過ぎた自然現象が故に、津波で被害に遭われた方々の住まれる地域を高台に移すことは大きな決断ではなかったでしょうか。10年を経過してもまだなお続く復興への道とは思いますが、新しいものには新しい良さがあります。復興で新しくなった建築物が今後、世代を超えて誇れる建築物になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>国内外、文化遺産となる建築物も当時は新しい建築物であったことは間違いのないです。建築士として、建築に携わる者として、昔の建築物を守るとともに、今そして未来に誇れる建築物を生み出すことにも精進していかなければならないと改めて感じる時間でした。</p>
➤	被災状況や復興状況など報道だけでは知ることが出来ない情報をお聞きすることが出来、参考になりました。
➤	建築士会の活動が、それぞれの被災地で、重要な役割を担っている事を改めて実感致しました。
➤	仕事のため、拝聴できませんでした。
➤	岩手県の報告がなかったのは残念。地震の被害や津波後のまちづくりについて報告してほ

しかった。
➤ もともとの風景を知らないの、想像しながら見ていました
➤ 被災地報告では、地域のために「あしたを建てる」という言葉がここに響きました。被災地復興のために尽力し、ふんばり・向き合い・見守る人と向き合うことでたよりになる存在になっていき思いを共有して行くことの大事さを改めて大切だと痛感しました
➤ あまりにも生々しく感じ取ることが出来ました。とても辛かったですよね。今後の経過にも興味深いです。
➤ 実際の撮影動画が分かりやすかったです。
➤ 録画ということだからか、報告者の声が聞き取りにくいところがあった。実際その場で発表されるのとは、思いが伝わりにくい気がした。
➤ 日本国土の殆どに災害危険があると、いつも感じさせられる。私自身が実際に被災した時、報告者のように動くことができるのか、今一度委員会にて話し合いたいと思いました。
➤ 年々増える自然災害で、多くの地域が復旧・復興に追われている状況は他人ごととは思えない。また、その状況が10年経ても改善できない爪痕でもあり、自分事に捉え日頃の備えをすべきだと強く感じる。
➤ 被災地の状況がよくわかった
➤ 今まででは考えつかない災害が多発しているが復興の方向性が違うんじゃないのか？と思う所もあった。
➤ 映像等での報告はオンラインならではだと感じた。とても良い報告だった。
➤ 毎年新たな災害が起こっていることは、悲しいことですが、直接話をうかがうことができ、ニュース等で聞くより、身近に感じることができ、今の状態を知ることができるので、続けて行って欲しいです。
➤ 隣の県でありながら千葉県の災害の大きさに改めて知ることができました
➤ 忘れてはいけないと感じました。
➤ 復興、ってなんなんだろうと、改めて思った
➤ 報道では伝わってこないの、こういう報告はありがたい
➤ 現地の現状がわかってよかった。
➤ こちらは、知ることのない現状を知りました。今年2月の地震も、現地は大変だった事に驚きました。
➤ メディアでは風化してしまっているような報告を聴けて良かった
➤ 残念都合がつかず視聴できませんでした。

<p>➤ 東日本大震災からこちら、次々と大災害が起こっていることを再確認しました。</p>
<p>➤ 自分がその立場になったら出来るのかということを毎年考えさせられる。 そして、毎年、涙が出てしまいます。</p>
<p>➤ 災害後も継続して状況を調査されているご様子が素晴らしいなと思いますし、このように伺える機会を頂けるのはありがたいと思います。</p>
<p>➤ どの被災地もとても大きな災害で、復興といっても町・生活・心などの困難がありますがこれまで取り組んで来られたことをうかがい知ることができました。</p>
<p>➤ できれば、忘れないためにも被災地報告は続けたほうが良いと思います。</p>
<p>➤ 時間の都合で全報告を聞くことはできませんでしたが、千葉県建築士会の報告を聞きつい最近のこのように思っていました。2年前の発生で時の過ぎる速さに驚きでした。一夜明けて景色委が変わってしまった…とのお話を聞いて台風災害の甚大さに、人はなす術がないと強く思いました。地球温暖化が人類に及ぼす影響は測り知れないものです。建築を通じて私たち建築士は何をすべきか考えなければならない時代が来ているということです。</p>
<p>➤ 動画が良かった。雰囲気分かりやすかった。</p>
<p>➤ 自分の住む地域も被災地報告したいと思った。報告出来なくても、それほど自然災害が多発していること、わかるように全国網羅してほしかった。</p>
<p>➤ こちらも時間のかかる対応が必要ですね。被災状況を見て、生活の崩壊を感じた時、生活に根差している職種である事を改めて思いました。一日も早い復興と、これからに備えた対応策をしっかり学んで行きたいと思います。</p>
<p>➤ 各県さまざま災害が起こっていることを再認識しました。</p>
<p>➤ 親戚のいる被災地の県もあり、他人事と思わず、備えなければいけないと思いました。</p>
<p>➤ 被害がでた直後はテレビなどの報道もあり、知りえることが出来ますが、月日が流れるとなかなか被害のあった土地に目を向けることがなくなっていました。このような機会は、報道では知りえることのできない情報を知ることができ、何が出来るのかを考えるきっかけとなりました。</p>
<p>➤ もう少し短い時間でもよかったと思う</p>
<p>➤ 皆さんの報告は本当に素晴らしかったです。 私には「被災地報告」と言う名のハードルが高すぎます。押寄せてくる真っ黒い壁を振り返りながら必死で逃げた当日。2年後の3月、南相馬市小高区にボランティアに入り、屋根に車が乗っかり、土手には小舟が打上げられたまま、宅地は谷地と化していました。当時のままの状態に衝撃を受けたものでした。台風・豪雨・パンデミックと次々と災害は続きます。「未来につなぐ」為には現状を見続けそこから学んで行く事ではありますが、大熊町の映像</p>

に、以前見学した時の大量のフレコンパックが心に重くのし掛かります。
機関誌の「北から南から」の様な爽やかな風を感じるようなタイトルに代わる時が来ますように！

- 時系列的な映像が多くて分かりやすかった。
- 現地の動画も状況がよくわかるのでよいなと思いました。
- 5つの報告から被災地の今を知ることが出来ました。熊本県建築士会さんの「再建の為に住まいの相談会」のきめ細かい対応に建築士としてのプロ意識を感じました。冊子でももう少し詳細説明があったら良かったと思います。
- 報告を伺うまで知らないまま過ごしていました。聞き逃したところもありましたので、配信動画で再度視聴させていただきたいと思います。
- 被災地報告は全建女に参加するたびに興味深く聞かせて頂いています。現地の方々の状況や建築士としての関わりについて知ることができるので、今後も続けて行って欲しいと思います。
- 発災直後は、ニュース等で状況を知る事が出来るが、時間の経過とともに情報が耳に届かないので、関わっている方のお話はとても貴重だと思う